

## 『イタイイタイ病を考える県民フォーラム』を開催しました

2月13日（土）、イタイイタイ病を考える県民フォーラムを開催し、約100名の方々に参加いただきました。開会の挨拶では、石井知事が、今年発足50周年を迎えるイタイイタイ病対策協議会のことに触れられ関係者のこれまでのご尽力に対し、感謝を述べられるとともに、昨年10月に天皇・皇后両陛下に資料館をご視察いただき、天皇陛下から「イタイイタイ病の教訓を外国を含め皆に知らせる意義は大きいですね。」という励ましのお言葉にとっても感激したと述べられました。

学習発表会の小学校の部は、富山市立鷓坂小学校、高岡市立博労小学校に、中学校の部は富山市立三成中学校に、大学の部は富山国際大学現代社会学部の皆さんに資料館の見学を踏まえ学習・研究した成果を発表していただきました。

会場の参加者からは、発表に対して「とてもよく学習している」という称賛の声や「子どもたちがイタイイタイ病を伝えていって欲しい」といった期待の声が寄せられました。

午後は、女優でエッセイストの星野知子氏による県民講座を開催しました。「水と緑の星に生まれて～これからの環境問題について考える」をテーマに、星野氏が世界各地を訪れた体験から、水と緑、環境の大切さそして恵まれた日本の自然環境の美しさを再発見することの必要性について、写真を交えながらご講演いただきました。

この後、金沢大学地域創造学類の香坂玲准教授にコーディネーターを務めていただき、「地域に根ざした公害病資料館を目指して」をテーマに四大公害病資料館の館長等によるシンポジウムを行いました。その中では語り部の持つ貴重な体験をどのように次代へと引き継いでいくのかが四館共通の課題であり、今後と四館が連携して協力していくこと、そして地域との協力が不可欠であることが確認されました。



知事の挨拶



学習発表会



県民講座



シンポジウム

## 学びを振り返って～課外学習サポート事業の調査結果【中間報告】について～

今年度も子どもたち（学生含む）の資料館への来館を支援する課外学習サポート事業（無料送迎バスの提供）を実施し、これまで51校（小学校39校、中学校5校、高校以上7校）、合計2,838名の生徒、学生に来館していただきました。この事業の利用者には、見学された後にアンケートを実施し、イタイイタイ病の理解度を調査させていただいています。

学習の効果を「発生した時期」、「発生した地域」、「患者の症状や特徴」、「原因（物質）」の主な四項目で調査したところ、利用者の9割以上が『理解できた』と回答しました。資料館での見学が、利用者の理解に確実に結びついていることが確認できました。

今回の調査で特徴的なのが「鉱山の立入調査」、「農地の土壌復元」の分野で、『特に理解が深まった』や『印象に残った』の回答が少ないにもかかわらず、『今後学習したい』という感想が多かったことです。利用者には少し難しい内容が含まれていると考えられますが、とても興味を持っていただいている分野であることが解りました。

資料館では、今回の調査をもとに利用者の理解がより深まるよう努力していきたいと思います。調査にご協力いただいた皆様ありがとうございました。

今回の調査結果は資料館の掲示板やホームページでもご覧いただけます。

「資料館ホームページ（URL：<http://itaitai-dis.jp>）」



富山県立イタイイタイ病資料館  
平成28年2月29日現在

**課外学習で資料館を利用した子どもたちの学習状況（中間）**

**1 集計対象** 課外学習サポート事業を利用して来館した小・中・高・大学生 2,838名（51校）  
\* 小学生/2,219名（39校）、中学生/396名（5校）、高校生/94名（7校）、大学生等/138名（4校）

**2 学習効果の状況**

項目	発生した時期	発生した地域	患者の症状や特徴		原因（物質）	
			理解できた	理解できなかった	理解できた	理解できなかった
発生した時期	2015年	富山県	90.1%	9.9%	90.1%	9.9%
発生した地域	富山県	富山県	90.1%	9.9%	90.1%	9.9%
患者の症状や特徴	顔面潮紅	顔面潮紅	90.1%	9.9%	90.1%	9.9%
原因（物質）	鉛	鉛	90.1%	9.9%	90.1%	9.9%

**3 学習後の分野別の理解度、効果**（単位：人）

展示室のテーマごとの分野	理解できましたか？		特に理解が深まった		特に印象に残った		今後もっと学習したい
	多かった	少なかった	多かった	少なかった	多かった	少なかった	
1-1 川水を利用していた農家の生活	219	10	10	10	10	10	447
2-1 発生した地域	219	10	10	10	10	10	201
2-2 患者の症状や特徴	219	10	10	10	10	10	494
2-3 患者・家族の苦しみ、農地の人の苦しみ	219	10	10	10	10	10	454
2-4 原因（物質）	219	10	10	10	10	10	501
3-1 資料を基にした学習	219	10	10	10	10	10	444
3-2 市民と農家の交流の歴史	219	10	10	10	10	10	329
3-3 患者の認定方法、治療	219	10	10	10	10	10	359
4-1 患者の罹病の仕組み	219	10	10	10	10	10	659
4-2 患者の罹病の仕組み	219	10	10	10	10	10	617
5-1 鉱山への立入調査の内容と歴史	219	10	10	10	10	10	719
5-2 農地の土壌復元の取り組み	219	10	10	10	10	10	817
5-3 公害の暮らし、環境と健康の大切さ	219	10	10	10	10	10	807

## お知らせ「イタイイタイ病市民会議」が開催されます。

越嶺会（富山大学経済学部同窓会）が主催する「イタイイタイ病市民会議」が、イタイイタイ病の残された課題－市民とアカデミズムの役割－をテーマに3月16日（水）、4月20日（水）、5月7日（土）の3回シリーズで開催されます。

いずれの回も会場は富山大学中央図書館2階プレゼンテーション・ゾーンです。対象者は、研究者、学生、一般市民。（入場料無料）

当資料館の鏡森館長も3月16日（水）に講演いたします。

- ◆ 第1回 2016年3月16日（水）13時～15時
- 講演1 鏡森定信（県立イタイイタイ病資料館館長）  
「現在・未来へつながる歴史認識」
- 講演2 向井嘉之（イタイイタイ病を語り継ぐ会代表）  
「正しく語り継ぐこと」

詳細については、下記へお問い合わせください。

お問い合わせ先・参加申込先

富山市五福3190

T E L : 076-445-6411（越嶺会・米原）

F A X : 076-445-6419

E-mail : [etsurei@eco.u-toyama.ac.jp](mailto:etsurei@eco.u-toyama.ac.jp)

